

みちくさ

高橋相談員の ほのぼの日記

皆さん、こんにちは。今回は白寿荘での三恵さんの出張販売会についてお話したいと思います。6月26日、白寿荘にて三恵さんの出張洋服販売会が行われ駒場苑のご利用者も初めて参加しました。



三恵さんは三軒茶屋にある洋服屋さんで、以前から年に数回白寿荘で出張販売を行っています。駒場苑のご利用者から時々「洋服を買いに行きたいな」というお話があったり、職員からも「〇〇さんの新しい洋服を買いに行きたいが、どうい

うお店で買えばいいのかわからない」というような声がありました。私達職員としても「買い物に行きたい」というご利用者の声にすぐに応えたいのですが、実際はなかなか難しく、またご利用者世代が着るような洋服のお店が見つからないという中で、三恵さんの出張販売はとて

もありがたいサービスです。ぜひ今後は駒場苑のご利用者も参加できないか白寿荘の職員に話をしたところ快諾していただき、参加する運びとなりました。自分の目で見

て選ぶ楽しみ、お金を払って買い物をするという楽しみ、私達は普段当たり前に行っていることですが、ご利用者はこれらを楽しめる機会がな



かなかありません。特に女性のご利用者は昔ご主人やお友達と銀ブラしたり、百貨店で買い物して楽しんだ記憶があるという方が多いと思

駒場さんさん祭り

今年で4回目を迎えた「さんさん祭り」これまでソフト食の方が模擬店で食べられる物が少ないという問題点がありました。今年からは管理栄養士の飯岡からのアドバイスでひと工夫！かき氷に替わってソフトクリームを。焼きそばが食べられない方にはソフト食のたこ焼きを。ソフト食用のフランクフルトソーセージを手作り。チョコフォンデュで温かいチョコレートを。皆さん喜んでくれて大好評でした！



オムツゼロへの取組

駒場苑ではご利用者に快適に過ごして頂くためにオムツゼロを目指しています！
職員の工夫と努力で改善できた事例をご紹介します。

事例1 タイミングを逃さないことで解決！ (ポータブルトイレですっきりと)

ご利用者のAさんは普段から尿量が多く、お昼前に高い確率で失禁されていました。Aさんは立位がとれないのでトイレ介助は職員2名での対応が必要でしたが、ちょうどその時間は職員が一人しかいないことが多くトイレにお連れしたくても出来ない状態でした。そこで会議を開き話し合い、失禁が見られる時間帯よりちょっと前にP(ポータブル)トイレに座って頂くことにしました。今ではだ



いぶ失禁が減り、スッキリとした気持ちで昼食を召し上がって頂くことができています。職員一同知恵を出し合い工夫してご利用者により良い生活を送って頂けるよう努力していきたいと思

事例2 信頼関係を築いてスムーズに！(リハビリパンツから布パンツへ)

ご利用者のBさんは入所以来数年間、職員とのコミュニケーションを避けるかのようになかなか心を開いて下さいませんでした。介助を受けることが億劫なようでトイレでの排泄、口腔ケア、食堂での食事、入浴にも拒否がありました。リハビリパンツを履き、更にパットをあて、パットの交換もなかなかさせてもらえない状況でした。駒場苑ではほとんどのご利用者は普通の布パンツの中にパットをあてるだけでムレもなく快適に過ごしていただいています



が、Bさんに関しては改善して差し上げるのが困難な状態でした。そんな中、長い間Bさんの入浴介助を担当していた女性職員が昨年退職し、男性職員のYが引き継ぐことになりました。男性職員の入浴介助は嫌がっていたBさんでしたがY職員の時は不思議と大丈夫でした。半年間はY職員が担当していましたが、次第に他の職員でも入って頂けるようになりました。そこで居室担当のS職員(男性)から「信頼関係が出来てきた今なら布パンツを試してもらえるのでは？」との意見が上がりBさんに提案してみたところ、あんなに拒否していたはずなのにすんなりと受け入れてもらえました。今では布パンツにパットで、パット交換も頻繁に行い、気持ちよく過ごしています。たまにはトイレ誘導も出来るようになりました！